施策番号	2402					
施策名	住宅ストックの良質化のための適正な維持管理や更新の支援					
概要	環境に配慮し数世代にわたり住み継ぐことのできる住宅の普及を進めるとともこ、安心してリフォームを実施するための環境整備や分譲マンションの適切な維持管理等を推進する。					
担当局·部室	都市計画局・住宅室 共管局・部室					
上位政策	24 住宅					
施策に関係する主な分野別計画等	京都市住宅マスタープラン					

# 施策の評価

## 1 客観指標評価

	指標名	27年度	28年度			29年月	<b>き評価</b>		
	14 1余 12	27千度	20千度	前回値	最新值	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	耐震化, バリアフリー化又は省エネ化による固定 資産税の減額を受けた件数(件)	-	-	36	69	79	87. 3%	b	1.00
2	要支援マンション率(%)	а	b	2. 20	1.83	1.40	69. 3%	С	0. 25
3	-	-	-	-	ı	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	6 -		-	-	-	-	-	-	
		а	b	客	観指標	総合評	価	b	

2 市民生活実感評価 \*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

	設問 2		00左车			29	年度回	答							
			28年度	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価					
1	長く大切に使える住宅が増えている。	С	С	32	144	186	48	20	430	С					
Ľ	K / NAME K / SOL LA PAR CV SO		C	7.4%	33.5%	43.3%	11.2%	4. 7%	100						
2	-	_	_							-					
Ĺ															
3	-	_	_							-					
_															
4	-	_	_	_							-				
_															
5	-	_	_						-	-					
L															
		С	С		市民生	活実感	調査総	合評価		С					

3 総合計	平価(客観指標総合	評価+市民生活実感	調査総合	評価)				
В	施策の目的がかな	り達成されている						
	重み付け	☑ 客観指標	b	口市月	民の実感	С		
<b>(原因分</b> ☑ b評価↓	ボ,住宅ストックの適I 析) 客観指標総合語	果が客観指標に表れてい		- こ数値で 	示しているため		28 年 度	В
□ b評価↓ ☑ c評価↓ •「長く仮	以下であり、次の原因 使える住宅」について/	果が市民の実感に表れて	間を要する	ため、「と	ざちらとも言えない	い」とする回	27 年 度	В
	今後の方向性の検	<del>.</del>						

## <この施策を構成する事務事業>

		事業費の物	状況(千円)	29年度事務事業	_
	事業名	28年度 決算額	29年度 予算額	評価結果における 目標達成度評価	担当局
1	安心すまいづくり推進事業	58, 657	55, 340	良い	都市計画局
2	分譲マンション管理支援事業	26, 927	28, 508	良い	都市計画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15				/山 車 T ~ // / / / / / / / / / / / / / / / /	

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

**<今後の方向性>**・既存住宅の活用やリフォームに対する市民の関心を高めるため、住情報の提供の充実や利用しやすい制度整備を行い、安心してリフォームができる環境整備に取り組んでいく。

施策名

2402

住宅ストックの良質化のための適正な維持管理や更新の支援

#### 指標名

#### 耐震化、パリアフリー化又は省エネ化による固定資産税の減額を受けた件数(件)

担当課

住宅政策課

連絡先

222-3666

## 指標の説明

住宅の耐震化、バリアフリー化、省エネ化による固定資産税の減額申請件数(累計)

#### 2 指標の意味

住宅ストックの良質化のための適正な維持管理 や更新がなされていることを間接的に示す指標

### 算出方法・出典等

出典: 行財政局税務部資産税課調べ(固定資産概要調書 より)

#### 4 数值

	前回数值	最新数值	推移		目標値	
	27年度	28年度	推的	数値	根拠	達成度
数值	36	69	33件増	79	中長期目標達成のために当年度達 成すべき数値	87.3%

ĺ		A = W 4				中長期目標
全国順位			数值	目標年次	達成度	根拠
	数值		250	32年度	27.6%	京プラン実施計画 第2ステージ

備考

29年度 122件 30年度 165件 31年度 208件 32年度 250件

#### 評価基準 5

c:60%以上80%未満

d:40%以上60%未満 e:40%未満

達成度が,

a:100%以上 b:80%以上100%未満

#### 6 基準説明

達成度(単年度目標値に対する最新数

値の割合) 100%以上をaとし, 100%未 満については20%ごとに区分してい

る。

#### 7 評価結果

27	28	29
-	1	b

# 指標名

#### 要支援マンション率(%)

担当課 住宅政策課 連絡先

2 2 2 - 3 6 6 6

#### 1 指標の説明

|旧耐震基準で建設されたマンションのうち、要支援マンション(高経年マンションで、①管理規約がない、②総 会又は理事会が開かれていない、③管理費又は計画修繕のための積立金を徴収していない、④大規模修繕工事を 実施していない、のいずれかに該当するもの)の割合(%)

#### 指標の意味

分譲マンションが適正に維持管理されているか を示す指標

#### 算出方法・出典等

算出方法:要支援マンション/高経年マンション\*100 出典:京都市高経年マンション実態調査(H17・18年度 実施)

#### 4 数值

	前回数値	最新数值	<del> </del> #+∓9		目標値	
	27年度	28年度	推移	数值	根拠	達成度
数值	2.20	1.83	0.37ポイント減	1.40	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	69.3%

	A				中長期目標
	全国順位	数值	目標年次	達成度	根拠
数値		0%	31年度	69.5%	京都市住宅マスタープラン

備考

#### 5 評価基準

### 6 基準説明

I		達成度100%以上をaとし、100%未満に
ı	a:100%以上	ついては25%ごとに区分している。
ı	b:100%未満 75%以上	

c :	75%未満 50%未満	50%以上
d :	50%未満	25%以上
e :	25%未満	

7	7 評価結果		
Г	27	28	ľ

27	28	29
а	р	С